

令和2年度第1回玉野市男女共同参画推進審議会会議録

日 時：令和2年8月28日（金）10：00～11：30

場 所：玉野市役所 大会議室

出席者：委員15名、事務局5名

1. 開会

2. あいさつ（総務部長）

3. 委任状交付

4. 自己紹介

5. 役員選出

6. 議 事

（1）男女共同参画行政の概要（令和元年度実績・令和2年度計画）

（事務局より資料に基づき説明）

会長：

ただいまの説明に関してご意見、ご質問等があればお願いします。

（意見・質問なし）

（2）第5次たまの男女共同参画プラン策定に向けたアンケート

（事務局より資料に基づき説明）

会長：

ただいまの説明に関してご意見、ご質問等があればお願いします。

委員：

このアンケートは玉野市独自のものなのか、全国的に統一されたものなのか？

雇用者側、例えば会社の経営者がなぜ男女平等に雇用できないか、なぜ使用しにくいのか、そのあ

たりがつかめるアンケートになるように項目を一部入れてはどうか。雇用するに当たって何が問題なのか、それをどうやって解決したらいいかをくみ取る方策がこのアンケートから見えない。そのあたりをもう少し考えてもらえたらと思う。

事務局：

国や県も男女共同参画に関する調査を行っている。国や県と比較できるよう類似した質問もあるが、玉野市独自の質問も設定している。

事業者の質問について、今回のアンケートは市民の方を対象にしたアンケートとしているため、事業者の方目線の質問は今回のアンケートでは設定していない。しかし、プラン策定に当たり、事業者の声も取り入れる必要があるため、別途検討していきたいと考えている。

委員：

市民に対するアンケートということだが、市民の中にも経営者や各企業で管理職の立場の人も十分いる。このアンケートの中でそういう立場の人の声が引き出せる方策を考えたらどうか。

事務局：

委員が言われるとおり、事業者側の立場も大きな部分を占めるため、そういった調査は有益だと思う。一般市民を対象にしたこのアンケートは、おそらく回答される方は自分の家庭や身の回りの状況について回答されるのだと思うので、委員ご指摘のターゲットをしぼった事業者という目線でやるのであれば、別途アンケートを実施したり、また、毎年事業者表彰もしているので、そうした時に色々な事業者の皆様の実態について調査をするので、言われている内容についてターゲットをしぼった調査ができないか考えていきたい。

委員：

アンケート回収率の問題が結果として出てくるが、人口に対して対象者が1,500人が適性なのか、皆さんの意見が集約できるのかというあたりを押さえておいていただきたい。

また、あまりアンケートを複雑にしないほしい。他のアンケートも同様だが、最後までたどりつかないことがある。国の指針などもあるのだろうが、できるだけ簡単に回答できる内容になるよう配慮してほしい。

事務局：

過去の回収率は30%台後半であったが、1,500人に送付し、30%台後半の回答があれば皆さんの意見が反映できると考えている。前回の調査の際、アンケート調査を行っている業者に確認し、玉野市の人口であれば1,500人が適性ということであったため、今回も1,500人としている。

質問数について、少し多いのではないかということであるが、他の委員の意見はどうか？

委員：

盛りだくさんの内容なので、できるだけシンプルにしてもらいたい。郵送で調査をするということだが、インターネットを活用したアンケートを実施すると、より効果的で集計もしやすいと思うので検討してほしい。

事務局：

郵送でもインターネットでも回答できるよう検討している。

委員：

同じ人に全部回答してもらうのではなく、例えばグループを3つに分けてトータルで1,500人を少し増やし、一人一人の回答負担を減らすという方策は考えられないか？同じ人が全項目回答しないとアンケートの集計上都合が悪い項目もあろうかと思うが、回答する項目を減らすことで、回答者の負担を減らせると思う。

事務局：

アンケートの仕方について、属性項目があるため、ある程度の属性を選んでいただいた中で回答いただくようになっている。対象を少なくして広げると、アンケート対象者数を増やさないといけない可能性がある。これまでの経験上、1,500人に送った中で、30%から40%の間の回答率を目指している。検討はさせてもらうが、項目を個別に割っていくとクロス集計の関係で難しいという感じは受けている。

委員：

性別や年齢などの属性を答えるのは大したことはないが、それ以外の項目を考えないといけない。ボリュームが多すぎて困るという意見があったが、これに対応していかないとアンケートの回収率が上がらないと思う。電話アンケートを行うなど、考えていけば色々な方法があると思う。

委員：

回収率のところで、18歳から29歳までの方の回答率がいつも低いので、回答しやすいようにインターネットでも回答できるようにと委員会でも話が出ていたと記憶しているが、パソコンで回答される方は、市のHPから入っていくと思うが、HPの画面で分かりやすいところに出ていないと探すのが大変な場合もある。できたら携帯電話でQRコードを読むと回答画面に行くようにするなど、その辺りはどのように考えているか。

事務局：

QRコードについては、サイトにつながるための入口としての設定は対応できるので設定させていただく。

委員：

1,500人という無作為の人数について、18歳以上というのはいいと思うが、年齢の上限やアンケートに回答して下さる方が多い層を対象とするなど、何か考えているのか？

事務局：

玉野市の年齢構成比率に応じた抽出を考えている。無作為抽出をした結果としてはどうしてもその割合で出てくる。今回アンケートを設定する上で、例えば年齢ばらしも考えたが、そうすると偏りが出てアンケートとしては無作為にならなくなってくるというのもある。総合計画でも基本的に無作為抽出は玉野市の年齢構成上出てくるもので設定しているので、上限についてはあまりに高齢だと回答が難しいのではないかと思うので、そのあたりは検討していきたいと考えている。

会長：他にご意見・ご質問は？

委員：

事前質問の中で既に回答はあったが、コロナの状況の部分で、雇用開発協会で高校生などの就職、進路決定の色々な取組みをしているが、今年は全く開催できずじまいになってしまっている。そういったときに講演会や講座をインターネットで開催するということだが、これはこれでいいと思うが、これが玉野市で機能するのかどうか。この会だけでなく、講演会やフェアなどを開催して人を集めて周知徹底というパターンだったのが、これからはなかなかできにくくなると思う。玉野市で機能するにはどうしたらいいのか、いい考えがあったら教えてほしい。次のやり方がどういう方法があるのか。特に意識啓蒙や講演会などは模索中で頭を痛めているので、もし市で新しいアイデアがあれば色々な団体にご教授いただければありがたい。玉野でオンライン講演会をした時にどの程度のアクセスがくるのか、オンラインでの経営の講演会の案内などくるがほとんど対応できない。それを含めて早めに動いていただければありがたい。

事務局：

インターネットを使つての講演会の受講というのはなかなか難しいところがあるかと思うが、総務課での取り組みとして、11月に防災をテーマにした男女共同参画の講演会を開催する予定にしている。QRコードも活用し、講演会のページに接続してすぐに講演会が見られる設定にし、また期間も1日だけではなく2週間という期間をとっての開催を予定している。まだ始めたばかりの取り組みであるが、今後もよりよい方法を検討していきたいと考えている。

また、まだ確定はしていないが、講師の方がYouTubeを使って講演会を行うことになっている。YouTubeだと比較的入りやすいのではないかとこのところがあり、これからの新しい生活様式という意味でも、堅い市のHPから入るだけでなく、色々なチャンネルを使いながらやっていくのがいいだろうと思う。外部の講師の方だとこちらに来ていただくとなるとなかなか難しいが、その代わりインターネットを活用すれば距離は非常に近くなる。何もしないよりはチャレンジとしてこういうチャンネルを使いながらやっていって、その結果は皆さんにお伝えしたいと思っている。皆さんにもご案内させていただくのでぜひ講演会をご覧いただきたい。

委員：

市のHPはどこに必要な情報が出てくるのか検索するのが非常に難しい。「玉野市の男女共同参画」、「玉野市の〇〇のアンケート」と入力したら一発で出てくるようなことができないのか。今だとHPを開いてから色々調べて、たどり着くのに10分くらいかかってしまう。

事務局：

市のHPについては、多方から何度もそのような声をいただき、例えば表紙の画面の見直しなどを繰り返して今にたどり着いているが、これは永遠の課題であり、10人いれば10人が見られる目的がそれぞれ異なるので、例えば今であれば「コロナ」であれば、表紙に「コロナ対策」という大きなボタンがあり、そこから入っていけば例えば商業者の方や個人の方がどういったことが必要があるかというように分かりやすくなっているが、コロナ以外のことで過去の何かを調べたいとなるとやはり検索をしていただく流れになる。随時見直しを行っているが、そこは永遠の課題となっている。ただ、検索の部分に調べたいワードを入れたらすぐに出てくるということを分かりやすく明記したり、文字ばかりでなく目立つ配置にするなど改良の余地があると思うので、日々改良していきたいと考えている。

会長：

ありがとうございました。委員の皆さまの御協力によりすべての議事が終了しました。会の進行を司会へお返ししたいと思います。

7. 閉会の挨拶：(岡崎副会長)

8. 閉会